



東京都  
デンタルデザイン  
クリニック

鈴木 光雄  
先生

今回のアイテム

## マックスセムエリート/接着性レジンセメント

# 操作性が良く、余剰セメント除去も容易で硬化がシャープなセメント

接着は歯科界にとつて永遠のテーマであり、補綴物が継続的に口腔内に維持できるかにかかっている。

かつて無縫冠の時代にはエナメル質の削合が極めて少なかったが、仮に冠が外れても致命的なものにはならなかった。セメントもリン酸セメ

ントが主体であった。

しかし現在では陶材焼付冠やポーセレンジヤケット冠、ジルコニアジヤケット冠等が主流となり、極めて切削量が多く、象牙質まで切削する様になってきた。

また、感染根管治療の発達により、従来抜歯のケースがかなり保

存できるようになってきた。

その反面、歯質の極めて少ない歯の保存も要求されるようになってきた。

そこで歯質にも接着できるレジン系のセメントが発達してきた。

Kerr社のマックスセムエリートは極めて操作性が良く、余剰

セメント除去も容易で硬化がシャープなセメントといえる。

オートミキシングによる2ペーストの混和は気泡が全く入らず短時間で正確に練和でき、操作時間に余裕が生まれる。

また光を3秒(※)照射する事で程よく硬化し、余剰セメントの除

去が簡単に行える事も大きな特徴である。

私はこのセメントを主に陶材焼付冠、金属冠、インプラントの上部構造の接着に用いている。

※光照射器の光量と照射距離によって異なります。

